

3. 2022年度 男女共同参画委員会のまとめ

(1) 2022年度 委員会構成 理事9人・担当役員1人・職員3人

(2) 2022年度の活動のまとめ

1) 活動方針

男女共同参画（社会や家庭、職場で、性別を問わず、誰もが1人の人として尊重され、お互いに認め合うこと）をテーマに、社会や組合員の生活場面での「気づき」や、職員の労働環境における男女共同参画をすすめるための取り組みをすすめました。

2) 活動内容

①気づきの活動

- ・役職員（所属長）向けに学習会を開催しました。

『一人ひとりが力を発揮し、次世代を担うために』

日 程：2023年2月1日（水）

場 所：堺東本部生協ホールおよびオンライン

講 師：えんばわめんと堺/ES

代表理事 北野 真由美氏

参加人数：92人

内 容：様々な年代の部下を抱える若手の管理職が増え、幅広い世代をマネジメントする力量が必要となっています。みんなが生き生きと仕事ができる環境を作るために、マネージャーが、年代・考え方も幅広い部下とどうコミュニケーションをとればよいのか、そのヒントとなるよう学習しました。



学習会のようす

②広報活動の推進

- ・機関誌いずみ、ホットメール（組合員活動情報誌）に、気づきにつながるコラムや委員会報告を掲載しました。



機関誌いずみ
男女共同参画委員会だより

③委員会活動の推進

- ・構成メンバーで「ミニ学習会」を開催し、情報共有や問題意識の向上を図りました。
- ・職員の就労状況や各種制度の取得状況などを共有しました。
- ・大阪府の「困難を抱える女性の支援事業」を視察し、学習しました（5月11日）。大阪府生協連と連携し、役職員を対象にスーツ小物類の寄贈を呼びかけ、123点をドーン財団に寄付しました。
- ・これからの「男女共同参画委員会」の役割について、情勢をふまえ再設定しました。



女性支援事業への寄付のようす